

企画名	手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 半沢裕子 TEL： 090-7243-6720 Email： fukuchang23@yahoo.co.jp ホームページ： http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2022 年 6 月 26 日（日） 10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	- 鈴木盛智代表から本日の予定、講師の萩原富司さん(魚類研究者)から魚のとり方、モンドリやガサガサの説明。 - モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 - 講師の萩原富司さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 25 名（大人 11 名、子ども 14 名） 会員スタッフ 16 名（うち 1 名は講師）
   ▲猛暑でターフ下にて説明    ▲とれた魚を観察する ▲→ガサガサタイム。お魚とれたよ！ ←講師による説明 ←魚は種数も個体数も少数。メダカが増えていたのはよかった点？ 	
参加者や実施団体の感想	- フォーラムがQRコードでの受付と抽選を引き受けてくれて非常に有難かった。 - コロナの状況から2班に分けず1班で実施。人数少なめでちょうどよかった。 - 季節外れの猛暑日となり駆け足でイベントを進行した。片づけまで含め、12:30には終了できた。 - 生き物は年々減っている印象だが、今年は驚くほど種数も個体数も少なかった（特に個体数）。リピーター参加者からも「こんなことは今までなかった」の声。メダカが増えていたのは唯一のよかった点(カダヤシ捕獲されず)。 ＜確認できた生き物＞ ●在来種……モツゴ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ミナミメダカ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、スジエビ、ニホンアマガエル、●国外移入種……シナヌマエビ、アメリカザリガニ幼体、全10種

企画名	かかし作り・かかし祭り
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで作ったお米を守るかかしを作る。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。
日時	① かかし作り・・・7月9日(土) 8:30～12:00、7月23日(土) 8:30～12:00 ② かかし祭り・・・8月20日(土) 9:00～11:30
プログラム・概要・ルート等	7月9日の外部参加者のかかし作りには6組21名の参加者が6体のかかしを作りました。子ども部会も7体のかかしをつくりました。 7月23日には、手賀沼トラストの大人部会が9体のかかしを作りました。外部・子ども部会のかかしと一緒に田んぼに並べました。 8月20日のかかし祭りには16名の外部参加者と132名のトラスト会員が参加し、投票の結果、外部参加者、子ども部会、大人部会それぞれ2体が選ばれました。後日美味しい新米が贈呈されます。 虫や動物に詳しい自然観察員の渡辺さんから、冬水田んぼに住む虫たちと生態系についての話があり、絵入りの資料を見ながら、子供たちも熱心に聞いていました。かかしの歌の合唱もあり、楽しい祭りになりました。
参加対象	一般市民
参加人数	① かかし作り 7月9日(土) 一般参加21名(大人11、小学生6、幼児4)、 会員スタッフ7名、子ども部会72名(大人28、子ども44) 7月23日(土) 会員 71名 ② かかし祭り 8月20日(土) 一般参加16名(大人8、小学生6、幼児2)、 会員スタッフ7名、会員125名
 みんなで力をあわせて  できた！  生態系のお勉強  どれが入賞？	
参加者や実施団体の感想	* 意外に簡単にできた。 * 暑かったけど頑張った。 * 虫捕りが面白かった。

企画名	川や沼の水のよごれをはかってみよう！ぷりぷりせっけんを作ろう！
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL：04-7185-1469
目的	・ パックテストで手賀沼や川の水の汚れ（COD）を測定し、水質への関心を高める。 ・ 私たちが使用している水は繰り返し使用されていることを発見し、生活の仕方を考える。 ・ ぷりぷり石けんを作り、自然界で分解しやすい石けんを身近に感じてもらう。
日時	2022 年 7 月 17 日（日）1 回目 13:00～14:15、2 回目 14:45～16:00
プログラム・概要・ルート等	① 水の汚れの測定に COD 値が使用されることを知り、その測定方法を知る。大堀川・手賀沼・湖北集水路・利根川の水を観察し、汚れをパックテストで調べる。手賀沼の汚れの変遷を知る。 ② 使った水の行方を考える、終末処理場と排水口の位置からわかること。 ③ 利根川の取水口、排水口を地図上にマグネットでプロットし、水は繰り返し使用されていることを知る。 ④ 水を汚さない工夫 ⑤ 石けんと合成洗剤の違い ⑥ リサイクル石けんの意義、ぷりぷり石けんづくり 石けんで新型コロナを退治
参加対象	小学 3 年生以上の親子（5 年生以上は単独参加可）
参加人数	一般参加 12 名（大人 6 名、子供 6 名） 会員スタッフ 7 名（協議会委員 5 名、市職員 2 名）
 よごれをはかる COD を知ろう  グループの測定結果を発表  利根川の取水口、 排水口について考える  ぷりぷりせっけんを作ろう	
参加者や実施団体の感想	子 COD が何なのか、どういうものなのか知りたいです。とても勉強になりました。 子 見ためだけでよごれているかわからないんだなと思いました。 子 これからは、水を汚さない工夫をいかしていきたいです。 子 とても楽しかった。石けんはかんきょうにいいし、肌にもいいことを初めて知りました。 大人 COD が 28mg/L～15mg/L の時代に我孫子で小・中学校時代を過ごしました。昔の手賀沼を知っているので、今もキレイにするためにできる事はあるなと感じた。

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらう連続企画の第3弾。みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。
日時	2022年9月10日(土) 8:30～11:30
プログラム・概要・ルート等	一般参加者は紫黒米と稀珍黒米を、手賀沼トラストの会員はもち米を刈り取りました。 稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。どれだけ多くの種類を捕まえられるかで競いました。3位まで表彰されました。 200人を超える参加者で大賑わいでした。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 30名(大人 11名、子ども 19名) 会員スタッフ 20名、会員 160名、計 210名
 稲刈りならまかせとけ！  虫捕り大会  今年は豊作だ  乾きますように	
参加者や実施団体の感想	総勢 210名、秋晴れの空の下、大賑わいの稲刈りでした。 子供たちは稲刈り終了後、恒例の虫捕り大会。チームごとに捕まえた種類の多さを競いました。遊ぶだけではなく、田圃をめぐる生き物の勉強もしました。 今年もかき氷のかわりにチューペット。美味しかった。

企画名	手賀沼賞 エコ・こども教室		
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 荻野 茂 TEL： 080-2386-3669 Email： ogino-s@rio.odn.ne.jp		
目的	我孫子市の小・中学校の生徒を対象に、教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」で選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子ども達に発表機会を設けると共に、多くの人達に作品の成果を広める。		
日時	2022 年 10 月 16 日（日）9:30～15:00 アビスタ第1学習室&ストリート		
プログラム・概要・ルート等	【口頭発表大会】アビスタ第1学習室 9：30～11：00 ・我孫子市小・中学校夏休み科学作品展受賞 15 作品の中から、発表 5 作品を選び、その研究成果を発表した。3 作品は受賞者が発表し、2 作品は推薦者（我孫子市環境レンジャー）が作品概要を報告した。 ・発表内容はコメンテーターの専門外の研究もあり、内容の幅広さに感服していた。 ・発表者には表彰状（A3版）、発表作品概要（A1版）、図書カードを授与した。 【エコクイズ大会】アビスタストリート 9：30～15：00 ・発表作品をアビスタストリートに展示し、作品内容を題材にしたクイズを実施、ボランティア・スタッフがクイズ解答へのアドバイスを実施した。 クイズ参加者全員に参加賞をプレゼントした。		
参加対象	どなたでも		
参加人数	発表会：一般参加 56 人（大人 25、子ども 31）、会員スタッフ 8 人、計 64 人 エコクイズ：一般参加 376 人（大人 150、子ども 226）、会員スタッフ 9 人、計 385 人 総計 449 人		
発表風景 			
発表会場 			
発表者に賞状授与 			
親子でクイズに挑戦 			
研究の説明にすごいと感動 			
参加賞のプレゼント 			
参加者や実施団体の感想	・発表会では、多様なテーマの研究内容と事前準備された発表に感動し傾聴していた。 ・クイズ大会の参加者は、クイズを通して知ることができた作品の研究内容に感服していた。 ・本企画は今回で 13 回目を迎えることができた。発表者本人、保護者、学校の全面的な協力が得られたこと、さらに、子どもまつりの小学生ボランティアが、クイズへの参加を呼び掛けて、多くの参加者に作品を見てもらえたことに感謝します。		

企画名	晩秋の谷津を散策しよう
実施団体	団体名 岡発戸・都部の谷津を愛する会 問合せ先 田島 友昭 TEL・FAX：04-7188-8778
目的	紅葉の谷津で生きもの探しを楽しみ、谷津の自然を大切に思
日時	2022 年 11 月 5 日（土）9:30～12:00 谷津作業小屋前集合
プログラム・概要・ルート等	講師：柄澤保彦さん（元中学校教諭・永年多くの自然保護活動をされ、平成 30 年環境大臣賞を受賞され、茨城県立博物館の昆虫展でも活躍されている） ・ 集合場所近く、エノキ若木に特定外来種「アカボシゴマダラチョウ」の幼虫発見、田島より説明。 ・ 歩き始めてすぐ、ガマの穂の爆発・花粉のふわふわを感じてみる。水路内にも多い。 ・ 水路沿いを歩く。深みには「モツゴ」が群れている。 ・ あぜ道、洋服に「ひつつき虫（ヌスビトハギの種子）」をひつつけて歩く。 ・ 後半、ゴルフ場側でけもの道の説明、タヌキか？アライグマの足跡写真を見てもらう。 ・ 赤く熟したカラスウリ、きれいな紫色に熟した小さなノササゲの種子、アケビも発見。
参加対象	どなたでも（小学生以下は保護者同伴）
参加人数	一般参加 18 名（大人 14 名、小学生 3 名、幼児 1 名） スタッフ 5 名（講師 1 名、会員 4 名） 計 28 名
 2 種類のカマキリを採り、翅を広げて、特徴を説明中  ガマの穂・爆発について説明  ガマの穂を採って  花粉を確かめました  フランクフルト!?  けもの道の説明、タヌキか？アライグマの足跡の写真を見てもらう。  クヌギの木の枝にヤママユを見つけ「ほらここだよ」と…見上げる  一言、注意のお話も！ 「毒毛虫が発生していますからササなど決して触らないで！」 皮膚科のお医者さん、岩津先生から	
参加者や実施団体の感想	- 過去 3 回参加されているリピーターの男性：同じ谷津での観察会ですが毎回新しい発見と話を聞けて、次回も参加したいです。 - 小学 4 年生女の子：秋なのにたくさんの虫が見られました。ヘビでなくてよかったです。 - 落葉とドングリを踏み歩く音がパチパチとして初めてでした。

企画名	手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～		
実施団体	団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 野口隆也 TEL： 090-5069-5055 Email：t_noguchi1212@jcom.home.ne.jp ホームページ： https://abikoyacho.org/		
目的	市民に手賀沼周辺の探鳥の楽しさを知って頂く②野鳥観察を通して市民同士の交流をはかる③次世代に環境の大切さを体験して頂く		
日時	2022 年 12 月 3 日（土） 9:15～11:45 天候：晴れ		
プログラム・概要・ルート等	当日は朝から晴れて絶好の探鳥日和となりました。コロナ対策のため事前に検温を実施。野鳥缶バッジ、野鳥カード、写真チェックリスト、鳥確認リスト、ボールペン等をエコバックに入れて前渡ししました。 船津会長、竹中流域フォーラム委員の挨拶の後、1 班・3 班は左回り、2 班・4 班は右回りと密を避けて元気に出発しました。 じゃぶじゃぶ池付近でエナガ、ヤマガラ、シジュウカラ、コゲラの大混群が出現、暫し観察を楽しみました。手賀沼に向かう途中の田圃ではタヒバリが頻繁に出現、またダイサギ、コサギ、アオサギ 3 種揃ったの観察もできました。上空ではトビが旋回していました。手賀沼では、マガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、カンムリカイツブリ、オオバン等の水鳥が観察でき、特に参加者の皆さんにはスコープでトモエガモを必死に探して頂きました。最後にカワセミの池まで足を延ばし、運よくカワセミを見られた班もありました。鳥合わせでは 4 班合わせて野鳥 41 種が観察されました。		
参加対象	市民（小学生以下は保護者同伴）		
参加人数	一般参加 35 名（大人 22 名、幼児 3 名、小学 9 名、中学 1 名） 会員スタッフ 14 名（会員 8 名、内部講師 4 名、流域フォーラム 2 名）		
 エナガ・ヤマガラ等の大群  タヒバリが頻繁に出現  アオサギ等サギ類を観察  橋の上から水鳥を観察  セグロカモメ・トモエガモも  全員で本日の鳥合わせ			
参加者や実施団体の感想	応募者は 5 日間で 47 名、参考にした媒体は我孫子市・柏市の広報が 66%、チラシが 22%でした。行事は大変好評で、当日 2 名が当会に新入会員として入会した。		